

【活動報告】

(1) 岡山県医師会産業医部会の活動報告

岡山県医師会常任理事 内田 耕三郎

○相澤委員長（司会） 皆さん、こんにちは。それでは、午後のセッションを始めさせていただきます。

それでは、活動報告に入らせていただきます。司会を務めさせていただきますのは、日本医師会の産業保健委員会の相澤でございます。よろしくお願いいたします。

初めに、「岡山県医師会産業医部会の活動報告」につきまして、岡山県医師会の会場から内田常任理事をお願いいたします。それでは、内田常任理事、お願いいたします。

○内田耕三郎・岡山県医師会常任理事 初めまして、岡山県医師会の内田でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

まずは、第1回全国医師会産業医部会連絡協議会の活動報告をさせていただくことにつきまして感謝申し上げます。よろしくお願い申し上げます。

簡単に自己紹介を申し上げます。私は岡山市内で内科の無床診療所を開設しております。日本医師会の研修を受けまして産業医となりました。現在、岡山市内で二つの事業所で産業医をいたしております。医師会活動といたしましては、平成18年に岡山市の医師会の理事になりまして、その後、専務理事、副会長、会長を務めました。その間におきましても岡山市内の産業医活動に関わってまいりました。平成29年に市の医師会を退任いたしまして、平成30年からは岡山県医師会の常任理事として産業医活動を担当しております。本日はどうぞよろしくお願い申し上げます。

それでは、まず岡山県の紹介を申し上げます。【資料4-1】

【資料4-1】



Okayama Medical Association

岡山県の紹介

提供：岡山県（後楽園）

（美観地区）

（瀬戸大橋）

（水島工業地帯）

（特産品）

岡山県人口 1,885千人
（うち岡山市 721千人）

晴れの国おかやま

The slide features a green header with the Okayama Medical Association logo and the title '岡山県の紹介'. Below the title are several images: a park (後楽園), a street scene (美観地区), a suspension bridge (瀬戸大橋), an industrial area (水島工業地帯), and various agricultural products (特産品). A map of Japan highlights Okayama Prefecture in green, with the text '岡山県人口 1,885千人 (うち岡山市 721千人)' and '晴れの国おかやま'.

岡山県は「晴れの国おかやま」と言われております。年間を通じての降水量が少なく、瀬戸内の温暖な気候に恵まれております。スライドにあります後楽園、白壁のまち倉敷、瀬戸大橋、水島臨海工業地帯、そして、これからシーズンであります果物、ピオーネ、マスカット、桃等の有名なところがございます。人口は岡山県188万5000人、岡山市は72万1000人でございます。岡山市は全国18番目の政令指定都市でございます。

次は岡山県医師会のご紹介でございます。【資料4-2】

【資料4-2】

Okayama Medical Association

岡山県医師会の紹介

岡山県医師会員数：3,123
(令和2年4月1日現在)

三木記念ホール
講演会やシンポジウムなど
多岐岐に活用されています。

合宿室・講師控室・控室

岡山県医師会
岡山県医師会
岡山県医師会

1962
岡山15周年記念式（徳島新聞掲載）

岡山県医師会の歴史

岡山県医師会は、1947(昭和22)年11月スタートしました。その前身は1915(大正4)年に成気の声をあげた旧岡山県医師会です。戦時中は戦争遂行のために官制組織となりましたが、敗戦を契機に民主的な理念と組織運営の下に新生県医師会と再スタートしたのです。その歴史は、岡山県の医療界の歴史そのものです。幾多の困難を乗り越え、岡山県の医療の発展に尽くしてきた先人達の業績と会の沿革を紹介いたします。(敬称略)

岡山県医師会は会員数3123名、平成28年に現在の岡山駅直結の地に新築・移転いたしました。303人収容できる三木記念ホール2階・3階部分を備えた7階建ての建物でございます。新幹線のホームまでゆっくり歩いていただいで数分で行けるといふ地の利が自慢でございます。

執行部は松山正春会長、副会長2名、専務理事1名、常任理事4名、理事10名、監事2名の構成でございます。常任理事制を取っておりまして、常任理事会を毎週1回水曜日に開催し、月1回は理事会をその後開催しております。

岡山県医師会の会員数の推移をご紹介します。勤務医会員、B会員が増加しております。開業医会員、A会員は減少しております。最近では研修医、C会員が増えてきております。全体の数としては、ここ何年かは横ばいの状態でございます。【資料4-3】

【資料4-3】

Okayama Medical Association
岡山県医師会の紹介

年度	会員数	前年比	A会員	B会員	C会員	B-A
H14	2,967	-	1,496	1,471	0	-25
H15	2,985	18	1,492	1,493	0	1
H16	3,017	32	1,486	1,531	0	45
H17	3,020	3	1,491	1,529	0	38
H18	3,007	-13	1,494	1,513	0	19
H19	3,018	11	1,479	1,539	0	60
H20	3,022	4	1,466	1,556	0	90
H21	3,037	15	1,467	1,567	3	100
H22	3,047	10	1,451	1,593	3	142
H23	3,084	37	1,447	1,637	0	190
H24	3,075	-9	1,433	1,642	0	209
H25	3,089	14	1,432	1,657	0	225
H26	3,088	-1	1,438	1,650	0	212
H27	3,095	7	1,440	1,655	0	215
H28	3,090	-5	1,436	1,653	1	217
H29	3,092	2	1,432	1,639	21	207
H30	3,108	16	1,421	1,654	33	233
R1	3,135	27	1,420	1,685	30	265



産業医活動の組織図はご覧のとおりでございます。

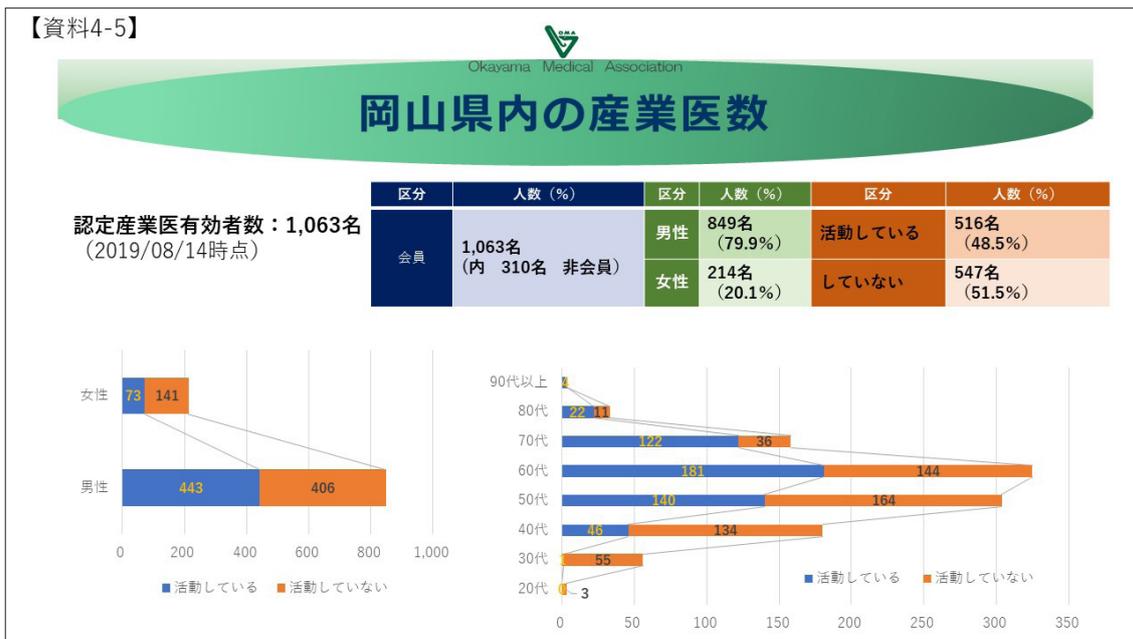
岡山県医師会の産業医部会の歴史は古く、48年前の昭和47年7月22日に委員14名で発足し、現在まで継続されております。岡山県内の左下に示しております郡市等の医師会がその一翼を担っております。【資料4-4】

【資料4-4】

Okayama Medical Association
産業保健活動における組織図



次は、岡山県内の産業医の数を示しております。【資料 4-5】



昨年8月現在で1063名、男性849名、女性214名。うち、「活動している」「していない」がほぼ半数、これは先ほどの松本先生のご発表、全国とほぼ一致していると思います。年齢構成でも同じようなことございまして、50代から60歳代が多くなっております。

次は岡山県内の産業医数の年次推移を示しております。【資料 4-6】



新規の申請者数の推移でございますが、全国のグラフと県内のグラフがほぼ相関して動いているような傾向でございます。

これは岡山県内の産業医数の岡山県で更新申請を行った先生方の数でございますが、最近ではご覧のような数ございまして、一定の傾向でございます。【資料 4-7】

【資料4-7】



次は産業医研修会の基礎研修と生涯研修を年次別にお示ししたものであります。【資料4-8】

【資料4-8】



平成27年から令和元年までの実績値を書いておりますが、最近では数が一定して増えてきております。生涯研修も基礎研修もご覧のような形です。資料の右側に映っておりますのが最初にご説明いたしました三木記念ホールでございます。2階・3階部分を階段状に造って303座席ございます。座席の間隔を広く取ってありまして、木製のテーブルが前から引き出せるようになっております。足元にはパソコン等の電源を備えておりまして、大変快適な環境で研修を受けていただけるようなホールを備えております。

次の資料は産業医の研修会についてのご報告でございます。【資料4-9】

【資料4-7】



Okayama Medical Association

岡山県内の産業医数

	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	計
岡山県	-	-	-	-	-	156	74	73	60	18	144	61	115	161	88	186	110	162	162	209	123	209	168	221	161	196	125	160	225	168	3,448



2017年度から岡山大学の疫学・衛生学分野の高尾総司先生と県医師会との共同で、産業医の基礎研修会を開催いたしております。資料左上にありますように初回は62名から始まりまして、次は120名。それから、今年の2020年はちょっとコロナの関係もあって、まだ日程は決まっておりませんが、これまでほぼ満席の状態で行っております。連休を利用いたしまして前半3日間、後半3日間の集中的な講義を行っております。

これは高尾先生の方でしていただいているアフターフォローと、受講状況でございます。

【資料4-10】

受講者の中でメーリングリストを作成いたしまして、随時質問に対応するというところでございます。新しく産業医になれる先生方にはいろいろな疑問が多いはずで、このメーリングリストを利用いたしまして、高尾先生が大変素早く対応してくださっております。そのため、リピート受講者も多いということでございます。受講してくださるときの工夫というのが下書いてありますが、臨床の先生であれば担当の患者様のさまざまな状況の中で、研修会を欠席にならないように、いろいろと配慮してからご参加いただきたいということを事前にアナウンスしていただいておりますので、ほとんどの受講者の方に遅刻や離席がないという、大変良い形でできております。

【資料4-10】

産業医基礎研修会

◆ アフターフォロー

- ・質問の中では、日医認定産業医の「次の段階の」研修、特にOJTニーズおよび産業医先の紹介に関するものが非常に多い。
- ・前者については、既受講者メーリングリストを作成し、随時質問等に対応。オプトアウト方式だが、登録解除はごく少数。
- ・後者については、各医師会の産業医部会への所属をご案内するとともに、医師会が対応できなかった求人について、求人の情報を上記メーリングに通知し、緩やかな「マッチング」を行っている。実績複数あり
- ・生涯研修会も同様に集中形式での実施（基礎研修受講者のリピート受講が多い）

◆ 受講状況（とその工夫）

- ・申込み時に、「集中講座のため、長時間の離席については単位が与えられないことがあるので、担当患者さんの容態などの心配がある場合には、事前にバックアップ体制を同僚医師に依頼しておくなど、十分に準備を整えてからお越しください」と説明。
- ・オリエンテーションにおいて
 - 一般企業の就業規則における「離席」等に関する懲戒規程を紹介し、私傷病があることが免責事由になるわけではないこと、本研修会においても同様の考え方で運用されることを説明した。
 - 6日間の離席は、のべ20回程度（一時退去記録表；1～2枚）。
 - （ほとんどの受講者が遅刻・離席なし）

次の資料は平成30年度の県医師会主催の更新、実地、専門分野の研修会実績を示したものでございます。年間十数回のもものが開催されております。【資料4-11】

【資料4-11】

産業医研修会

平成30年度

	研修内容	講師
更新	労働安全衛生法の一部改正（第68条の2）と企業における分産対策	岡山大学大学院疫学・衛生学分野講師 高尾 総司
実地	環境対策としての受動喫煙防止対策と個人への禁煙介入 グループワークによる事例検討	岡山大学大学院疫学・衛生学分野講師 高尾 総司 岡山ろうさい病院副院長 岸本 卓巳
専門	「過重労働」による健康障害防止と労働安全衛生法のためのメンタルヘルス対策	三菱ケミカル株式会社水島事業所産業医・労働衛生コンサルタント 成松 勇人
実地	運転業務制限を例に具体的課題について検討する グループワークによる事例検討	岡山大学大学院疫学・衛生学分野講師 高尾 総司 岡山ろうさい病院副院長 岸本 卓巳
専門	石綿関連疾患診断技術研修について	公立学校共済組合中国中央病院副院長 玄馬 顕一
専門	発達障害労働者の行動特性に基じた対応について	川崎医療福祉大学 医療福祉学科教授 谷原 弘之
専門	業務上自動車運転の可否判断－法規上の問題 内服薬 精神・神経疾患－	みのクリニック 院長 三野 進
実地	有害物質の作業環境管理・作業管理	岡山産業保健総合支援センター労働衛生工学相談員 横溝 浩
専門	国境を越える産業保健 ～海外赴任者・外国人労働者～	関西福祉大学社会福祉学部教授 勝田 吉彰
更新	働き方改革推進法に基づく労働安全衛生法の一部改正について	岡山産業保健総合支援センター副所長 島村 明
更新	「医師の働き方改革に関する検討会」の進捗状況と今後の課題について	日本医師会副会長 厚生省「医師の働き方改革検討会」構成員 今村 聡
更新	職業性難聴の概要と産業医の対応について	岡山産業保健総合支援センター相談員 結縁 晃治
専門	過重労働対策を見直す産業医の定期巡視の頻度に関する安衛則改正（第15条第1項関係）を転機に	岡山大学大学院疫学・衛生学分野講師 高尾 総司

次は令和元年、昨年度の研修実績でございます。【資料4-12】

同じような回数ができておまして、ほぼ満席に近い形で参加者の方がおいでいただいています。最初にお話ししましたように、岡山県医師会館の地の利、利便性もでございます。駅から直結という便利がいいところに建っておりますので、近隣の例えば香川県、兵庫県、広島県辺りの先生方もご参加いただいている、大変いい研修会をさせていただいております。

【資料4-11】

Okayama Medical Association
産業医研修会

平成30年度

	研修内容	講師
更新	労働安全衛生法の一部改正（第68条の2）と企業における分煙対策	岡山大学大学院疫学・衛生学分野講師 高尾 総司
実地	環境対策としての受動喫煙防止対策と個人への禁煙介入 グループワークによる事例検討	岡山大学大学院疫学・衛生学分野講師 高尾 総司 岡山ろうさい病院副院長 岸本 卓巳
専門	「過重労働」による健康障害防止と労働安全衛生法のためのメンタルヘルス対策	三菱ケミカル株式会社水島事業所産業医・労働衛生コンサルタント 成松 勇人
実地	運転業務制限を例に具体的課題について検討する グループワークによる事例検討	岡山大学大学院疫学・衛生学分野講師 高尾 総司 岡山ろうさい病院副院長 岸本 卓巳
専門	石綿関連疾患診断技術研修について	公立学校共済組合中国中央病院副院長 玄馬 顕一
専門	発達障害労働者の行動特性に基じた対応について	川崎医療福祉大学 医療福祉学科教授 谷原 弘之
専門	業務上自動車運転の可否判断－法規上の問題 内服薬 精神・神経疾患－	みのクリニック 院長 三野 進
実地	有害物質の作業環境管理・作業管理	岡山産業保健総合支援センター労働衛生学相談員 横溝 浩
専門	国境を越える産業保健 ～海外赴任者・外国人労働者～	関西福祉大学社会福祉学部教授 勝田 吉彰
更新	働き方改革推進法に基づく労働安全衛生法の一部改正について	岡山産業保健総合支援センター副所長 島村 明
更新	「医師の働き方改革に関する検討会」の進捗状況と今後の課題について	日本医師会副会長 厚労省「医師の働き方改革検討会」構成員 今村 聡
更新	職業性難聴の概要と産業医の対応について	岡山産業保健総合支援センター相談員 結緑 晃治
専門	過重労働対策を見直す産業医の定期巡視の頻度に関する支衛則改正（第15条第1項関係）を転機に	岡山大学大学院疫学・衛生学分野講師 高尾 総司

次の資料は、産業医の実地研修会の風景を示したものでございます。【資料4-13】

例えば平成27年度には関東電化工業という、これは水島工業地帯にある会社にお邪魔しました。平成28年は左の上の写真、DOWAエレクトロニクス、発電所です。それから、29年度はJFEケミカル、こちらへ行きました。

【資料4-13】

Okayama Medical Association
産業医実地研修会

実地研修

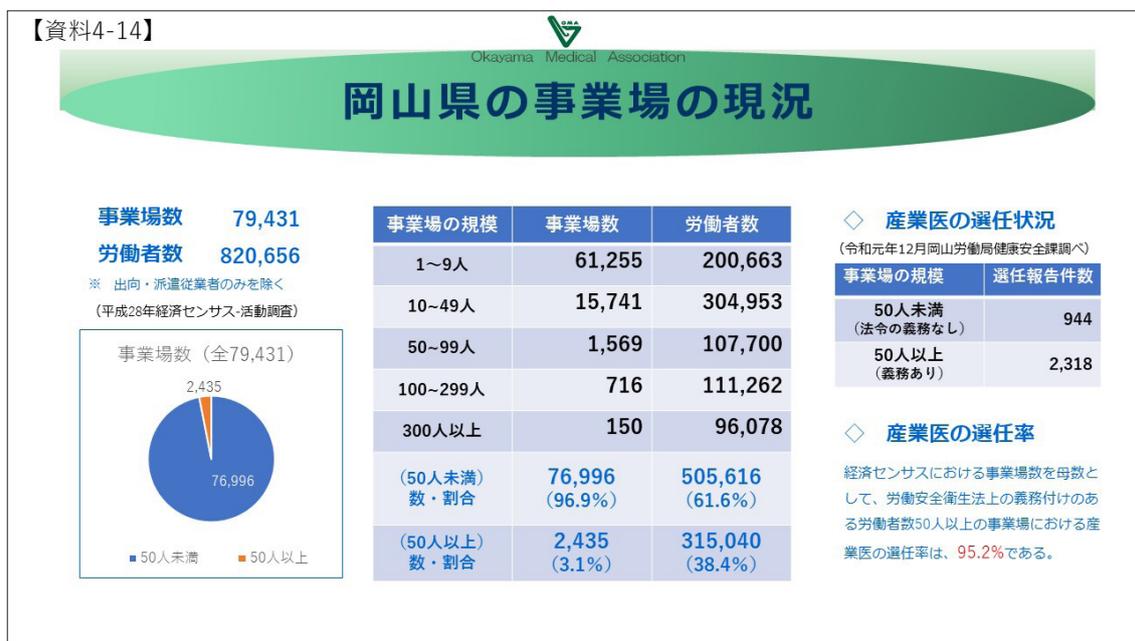
	研修場所
H27年度	関東電化工業（株）水島工場
H28年度	DOWAエレクトロニクス岡山 中国電力（株）水島発電所
H29年度	JFEケミカル岡山工場 萩原工業（株）
H30年度	三菱ガス化学（株） JXTGエネルギー（株）
令和元年度	坂本産業（株） ナйкаイ塩業（株）



萩原工業さんというのは水島にある会社ですが、ブルーシートを作ったことが有名で、ちょっと前のNHKのテレビ番組で取り上げられておりました、ブルーシート発祥の会社でございます。平成30年には三菱ガス化学さん、JXTGエネルギー、これは石油の関係でございますが、そこに行っております。昨年は坂本産業さん、ここは鶏卵を扱う会社です。そこと、ナйкаイ塩業、塩田を以前やっていたところが近代的な設備に変えて塩を作っているという会社で、日本国内の大手メーカーの半分以上に、このナйкаイ塩業の塩

が納められているようでございます。中央下の写真は労働衛生コンサルタントの方が測定機器を用いて実習を行っているところです。その右側は職場巡視の風景を写したものでございます。

次は岡山県の事業場の現況を示したものであります。【資料 4-14】



事業場の総数7万9431、労働者数が82万656人、その事業場の96.9%が50人未満でございます。さらに詳細に見てみますと、1人から9人が約77%、10人から49人が約20%でございます。産業医の選任状況を見てみますと、50人未満の産業医は944名でございまして、率にいたしますと1.2%ということですが、50人以上の企業では産業医が2318名在籍しておりまして、選任率が95.2%。右側の下に書いてありますが、そういった選任率でございます。

次の資料から岡山産業保健総合支援センターのご紹介を申し上げます。【資料 4-15】

役割といたしましては、産業医の研修、衛生管理者等のスタッフへの専門的研修の実施、事業者及び労働者からの相談を通して、産業保健活動の積極的な支援と充実したサービスの提供を行う等々を行っております。右側、その人員構成でございますが、所長は岡山県医師会長、松山会長が当たっております。副所長には岡山労働局からの出向者が就任しております。運営主幹といたしましては、現在、私、内田が主幹として執務しております。



岡山産業保健総合支援センター

◇役割

- ・産業医研修、衛生管理者等のスタッフへの専門的研修の実施
- ・事業者及び労働者からの相談を通して、産業保健活動の積極的な支援と充実したサービスの提供を行う 等

◇人員構成

- ・所長（岡山県医師会長）
- ・副所長（岡山労働局から出向）
- ・運営主幹（岡山県医師会理事）
- ・産業保健相談員は専門分野ごとに医師、保健師、労働安全衛生コンサルタント等16名を委嘱 他

岡山産業保健総合支援センターの主な活動

- ①メンタルヘルス対策事業（ストレスチェックと面接指導）
- ②治療と仕事の両立支援事業
- ③調査研究事業
- ④地域産業保健事業

そのほか産業保健相談員といたしましては、専門分野ごとに医師、保健師、労働安全衛生コンサルタント等、16名を委嘱してありまして活動をいたしております。下に示しておりますように、①から④のメンタルヘルス対策、治療と仕事の両立支援、調査研究事業、地域産業保健事業をこれからご説明申し上げます。

次の資料がメンタルヘルス対策のストレスチェックと面接指導を行っているところでございます。【資料4-16】



岡山産業保健総合支援センター

①メンタルヘルス対策（ストレスチェックと面接指導）

平成27年～平成28年

- ・実施者向け研修 13回（受講者702名）
- ・高ストレス者の面接指導 13回（受講者562名）



平成29年～令和元年

- ・高ストレス者面接指導の事例検討
- ・休職者の復職面談の事例検討
（手作りビデオを作成）



平成27年から28年にかけては、実施者向け研修として13回、受講者は702名、高ストレス者の面接指導13回、受講者562名でございました。平成29年から令和元年では、高ストレス者の面接指導の事例検討、休職者の復職面談の事例検討、手作りビデオを作成いたしました。その風景が右に映っております。

次は②の治療と仕事の両立支援事業でございます。【資料 4-17】

【資料4-17】

Okayama Medical Association
岡山産業保健総合支援センター事業

②治療と仕事の両立支援事業

令和元年度

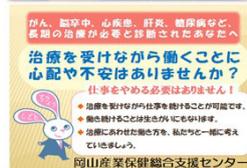
◇両立支援促進員（社会保険労務士）5名

- ・相談対応 145件
- ・啓発セミナー・専門的研修 20回
- ・個別訪問支援 39件
- ・個別調整支援 3例

◇出張相談窓口の拡充

- ・がん診療連携拠点病院を含む8病院に開設

◇両立支援コーディネーター基礎研修の開催



がん等と診断された方へ 治療、仕事との両立を支援

仕事をあきらめる前に、まずお声をください

職場にどのような伝え方があるか？
休業や退職は、どう進めたいだろうか？
退職したいが、本当に仕事を続けたいのだろうか？

両立支援相談窓口

岡山産業保健総合支援センター（岡山県産業保健推進協議会）が
医療・介護・福祉・労働・雇用・生活支援、連携・入職中・休業・退職
を支援する窓口です。相談内容は、本人の同意が得られる人に限るこ
とがあります。安心して相談ください。

岡山大学病院	両立支援センター	TEL:086-235-7744
岡山県立総合病院	がん相談支援センター	TEL:086-232-2211
岡山赤十字病院	がん相談支援センター	TEL:086-232-4827 TEL:086-232-2811
岡山医療センター	がん相談支援センター	TEL:086-234-9911 FAX: 6616
倉敷成人病センター	がん相談支援センター	TEL:086-422-2132 TEL:086-422-2111
川崎医科大学附属病院	両立支援センター	TEL:086-462-1111 FAX: 22612
倉敷中央病院	がん相談支援センター	TEL:086-424-0310 FAX: 2960
岡山労務病院	療育センター	TEL:086-262-9131

岡山産業保健 086-212-1222
総合支援センター
岡山県産業保健推進協議会
岡山県第一産業センター10F

令和元年度から両立支援促進員（社会保険労務士）5名で、相談対応145件、啓発セミナー・専門的研修20回、個別訪問支援39件、個別調整支援3例を行っております。一方、相談窓口の拡充ということでは、がん診療拠点病院を含む8病院に開設をいたしております。両立支援コーディネーター基礎研修の開催も行っております。右にその風景とパンフレットを記しております。

次は調査研究事業でございます。【資料 4-18】

平成10年から平成30年度におきましては、粉じんの職場におけますマスク効率と呼吸機能に関する研究のほか、産業保健に関するさまざまな課題について、平成30年度まで19課題の調査研究を実施いたしました。この報告書等は岡山産業保健総合支援センターのホームページに掲載しておりますので、またご一読いただければありがたいです。

令和元年度の調査研究といたしましては、使用後1年以上の電動ファンつき防じんマスク（PAPR）の機能に関する研究というものを行いました。防じんマスクに電動ファンをつけることによって、その効果がさらに高まったということと、その効果あるいは耐用性について研究の論文を書いております。これもホームページにありますので、ご覧いただければ幸いです。

岡山産業保健総合支援センター

③調査研究事業

平成10年度～平成30年度

粉塵職場におけるマスク効率と呼吸機能に関する研究ほか、産業保健に関する様々な課題について、平成30年度までに19課題の調査研究を実施（調査研究報告書等は、岡山産業保健総合支援センターのHPに掲載）

令和元年度の調査研究

【課題】使用後1年以上の電動ファン付き防じんマスク（PAPR）の機能に関する研究

【調査研究の目的】

平成30年度の研究で、PAPRは通常防じんマスクと比較して吸入粉じん量が極めて少なく、ファンの作動により圧着が比較的ゆるくてもマスク効率が有用であることが確認した。しかし、使用後時間が経過した場合の防じん機能に変化が発生することが考慮されるものの耐用年数等は明らかとなっていない。

そこで、今回は使用開始から1年、2年、3年以上経過した際のPAPRの機能について漏れ率の測定及びアンケート調査により検討することとした。



イメージ

次の資料は、岡山産業保健支援センターの地域産業保健事業について示しております。

【資料 4-19】

岡山産業保健総合支援センター

④地域産業保健事業

地域産業保健センター（地域窓口・7か所）では、産業医の選任義務のない小規模事業場の事業者等に法令で定められた産業保健サービスを提供している。



運営協議会で出された意見

【医師の偏在】 県北は若い人がいない。若い人が派遣されるシステムは救いである。若い人を循環させないと医療の維持ができない。

【両立支援制度】 かつては病気を治して仕事に戻るとされていたが、病気と共存して仕事と生活を続けるという考えは大切なことだと思う。

【受動喫煙対策】 タバコと肺がんの関係は明白であるのだが、岡山県で策定された条例は医師としては緩いと感じる。

（第11号）2020.2.1

【トピックス】

1. 受動喫煙対策は進んでいますか？
2. 「令和元年度過労死等防止対策白書」が公表されました。
3. 関連情報
4. 産業医研修会、事業者向け研修会のご案内

ちさんぽ通信



1. 受動喫煙対策は進んでいますか？
健康増進法の一部改正により、2020年4月1日全面施行されます。国民全体で望まない受動喫煙を防止するための取組は、マナーからルールへと変わります。病院・学校などはすでに敷地内禁煙となっていますが、その他の施設でも原則屋内禁煙となります。

〒700-8585 岡山市北区 赤松 赤松町1-1-1 岡山医学会ビルディング

岡山県の地図が左側に出ておりますが、地域産業保健センターは県下7センターございます。地域産業保健センター7か所では、産業医の選任義務のない小規模事業場の事業者等に法令で定められた産業保健サービスを提供いたしております。

運営協議会では、医師が偏在していること、県北には若い人がいない、若い人が派遣されるシステムが救いですとか、若い人を獲得しないといけないといった意見が出されました。それから、両立支援制度に関しては、かつては病気を治してから仕事に戻るとされていたものが、病気と共存して仕事と生活を続けるという考えは大切なことだと思う、といった声もありました。受動喫煙対策に関しましては、たばこと肺がんの関連は明白であるの

に、岡山県で策定された条例は、医師としては少々手ぬるいと感じると、そういった意見も出ております。また、県内の登録産業医のための情報ツールとして、「ちさんぽ通信」というのを発行しております。

産業医活動における今後の課題を箇条書きにしてみました。【資料 4-20】

【資料4-17】

Okayama Medical Association

岡山産業保健総合支援センター事業

②治療と仕事の両立支援事業

令和元年度

- ◇両立支援促進員（社会保険労務士）5名
 - ・相談対応 145件
 - ・啓発セミナー・専門的研修 20回
 - ・個別訪問支援 39件
 - ・個別調整支援 3例
- ◇出張相談窓口の拡充
 - ・がん診療連携拠点病院を含む8病院に開設
- ◇両立支援コーディネーター基礎研修の開催



がん、脳卒中、心疾患、肺炎、糖尿病など、癌国の治療が必要と認識されたあなたへ

治療を受けながら働くことに心配や不安はありませんか？

仕事をやめる必要はありません！

●治療を受けながら仕事を続けることが可能です。
●働き続けることで生活がけにも学びます。
●企業にも社会も働き方、働き方と一緒に考えたいでしょう。

岡山産業保健総合支援センター



がん等と診断された方へ 仕事、勉強、子育てがままにできる

仕事をあきらめる前に、まずお声かけください

職場にどのような悩みがありますか？
就業や健康は、どう思っていますか？
退職したいが、本当に仕事を続けたいのだろうか？

両立支援相談窓口

岡山産業保健総合支援センターの両立支援促進員（社会保険労務士）が企業や職場へ出張して就業や健康、生活や子育てに関する相談や支援を行います。就業内容は、本人の希望や働ける人によって異なります。お気軽にご相談ください。

岡山大学病院	両立支援センター	TEL:086-232-7144
岡山済生会総合病院	両立支援センター	TEL:086-252-2211
岡山赤十字病院	両立支援センター 兼受付部「レボラ」	TEL:086-233-8837 TEL:086-232-8811
岡山医療センター	両立支援センター	TEL:086-242-9911 (内線) 6078
倉敷成人病センター	両立支援センター 相談室	TEL:086-422-2522 TEL:086-422-2111
川崎医科大学附属病院	両立支援センター 産業医課	TEL:086-462-1111 IP電話 23103
倉敷中央病院	両立支援センター	TEL:086-422-0210 IP電話 2560
岡山労災病院	兼受付部「相談室」	TEL:086-262-9331

相談員は、事前に研修を受けました。お気軽にご相談ください。

岡山産業保健総合支援センター 086-212-1222
岡山県倉敷市下町南2-1-3
岡山県産業保健推進センター

職務の多様化と負担増への対応、産業医の地位と身分保障、適正な報酬の確保、地域による産業医の偏在と需給バランスの調整、産業医の高齢化と継承問題、民間企業の参入による産業医活動への影響と対処、日医を中心とした各都道府県医師会産業医部会の集約ということを課題として挙げてみました。

最後になりますが、産業医部会活動報告、今回のまとめを文章にさせていただきました。【資料 4-21】 産業医活動は職務の多様化が進み、新しく産業医活動を始めようとする医師にとって高いハードルとなってまいりました。産業医の高齢化、地域偏在の問題も浮き彫りになっており、産業医の選任についても医師会による推薦も限度があり、そうした中、民間企業の参入も都市部を中心に進んでいます。これらの課題を解決するためには、日本医師会認定産業医を組織化し、日本医師会主導で産業医活動を推進することが必須であり、本会の開催は歴史的に見ても快挙であると考えております。今後の発展を期待いたします。



産業医部会の活動報告まとめ

産業医活動は、職務の多様化が進み、新しく産業医活動を始めようとする医師にとって高いハードルとなってきました。

産業医の高齢化・地域偏在の問題も浮き彫りになっており、産業医の選任についても医師会による推薦も限度があり、そうしたなか民間企業の参入も都市部を中心に進んでいます。

これらの課題を解決するためには日本医師会認定産業医を組織化し、日本医師会主導で産業医活動を推進することは必須であり、本会の開催は歴史的にみても快挙であると考えています。

今後の発展を期待します。

以上、岡山県医師会から活動報告をさせていただきました。

○相澤委員長（司会） 内田常任理事、どうもありがとうございました。大変活発に産業保健活動をされている由、また、環境にも恵まれて、大学との連携、その後のメーリングリストによるフォローアップもされているということで、大変感銘を受けました。どうもありがとうございました。